

### 第3 主な事業実績

#### 1 経営支援対策

##### (1) 経営指導関連

ア 畜産コンサル体制強化支援事業 (県・受) 令和3年度～ 35,840千円

県及び地域の指導機関等と連携し、畜産農家の個別指導(収益性分析・生産技術指導)、グループ指導(交流会・研修会等)を実施した。また、肉用牛(繁殖・肥育)及び酪農の生産・出荷情報等を取りまとめ、定期的に生産者及び技術員等に提供し、地域指導の円滑な実施を支援した。その他、ホームページやSNSを活用し、畜産振興事業、畜産物価格情報等をリアルタイムに提供することで、本県畜産情報の積極的な発信を行った。

##### (ア) 畜産農家の指導状況

指導区分		酪農	肉用牛	養豚	合計	備考
個別指導 (延べ件数)		9	44	79	132	経営診断、生産技術指導
グループ指導	交流会	3回、のべ参加人数 59人				経営者交流会等
	研修会	6回、のべ参加人数 139人				生産技術・経営研修等

##### (イ) 経営分析結果の提供 (件)

区分	酪農	肉用牛	合計
データ収集件数	103 (実戸数53)	8,634 (実戸数4,746)	8,737 (実戸数4,799)
延べ支援件数	103 (実戸数53)	1,721 (実戸数893)	1,824 (実戸数946)

##### (ロ) 畜産関係情報の発信 (回)

区分		更新/投稿回数
ホームページ	「宮崎畜産ひろば」	49
フェイスブック	公益社団法人 宮崎県畜産協会	88

**イ 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会・補） 昭和41年度～34, 479千円**

畜産経営を支援する国・県等の事業を補完し、本会の畜産コンサルティング機能を活かした経営指導及び情報提供等、また地域畜産の活性化や衛生指導活動等を実施したほか、地方競馬のPR活動を行った。

加えて、未来の畜産業の担い手となる農業高校生及び女性畜産農家が講師となり、一般消費者親子10組を対象とした肉用牛体験教室を実施した。

**ウ 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会・補） 昭和56年度～ 11, 594千円**

畜産特別資金等借受者の改善計画達成を支援するため、関係機関で組織する支援協議会を開催し、改善指導情報の共有化及び農家指導体制に係る協議を行った。

併せて、新規借受者の計画作成指導、既借受者等の見直し計画作成及び計画達成のための指導を実施し、地域の融資機関等における指導を支援した。

借受者の経営改善のための指導回数

指導区分	回数	指導戸数（延べ）
a 改善計画作成に係る指導	2	計2戸（肥育牛1、酪農1）
b 改善計画見直しに係る指導	7	計20戸（繁殖牛7、肥育牛7、肉用牛一貫2、酪農1、養豚3）
c 改善計画達成に係る指導	34	計34戸（繁殖牛4、肥育牛6、肉用牛一貫5、養豚19）

**エ 家畜排せつ物適正処理・利用促進事業（県・受） 令和4年度～ 5, 601千円**

家畜排せつ物の適正処理と利活用を推進するため、民間の堆肥生産・流通コンサルタント及び畜産経営環境保全技術支援チームと連携し、良質堆肥の生産に向けた現地検討会や堆肥等の成分分析の実施を支援するとともに、県内外の堆肥流通体制の構築に向けた意見交換、県堆肥センター協議会の運営支援等を行った。

- (ア) 家畜排せつ物の適正処理・利活用支援 22件
- (イ) 研修会・現地視察・意見交換会 22回
- (ウ) 堆肥成分等分析 52件

**オ 地域畜産支援指導等体制強化事業（中央畜産会・受） 令和元年度～ 2, 500千円**

生産者等からの各種相談に応じるため、総括畜産コンサルタント等の専門家による相談窓口を設置し、指導体制の充実を図った。また、畜産女性のネットワーク活動を支援した。

- (ア) 県域大会（モーモー母ちゃんの集い） 1回（78人）
- (イ) 県外先進事例研修 2回（25人）
- (ウ) 役員会・研修会 1回（14人）

カ 経営支援指導事業（協会事業） 平成14年度～ 8,337千円

肉用牛繁殖・肉用牛肥育・酪農経営に係る経営分析システムを運用し、リアルタイムな生産技術分析帳票及び青色申告データ等を活用した収支分析帳票を作成し、生産者及び関係機関へフィードバックした。

また、利用者ニーズに応じた組合せ集計や関係者向け参考資料等の提供及び経営分析システムの機能強化等を実施し、利用会員の拡大に努めた。

	肉用牛繁殖	肉用牛肥育	酪農
支援事業加入戸数	692戸	201戸	53戸
帳票発行数	1,508部	213部	103部

キ 全国域畜産コンサルタント等招へい事業（協会事業） 令和元年度～ 2,873千円

全国域畜産コンサルタントと連携し、畜産特別資金借受者等の要経営改善農家に対する濃密指導や生産技術向上のための研修会等を開催した。

濃密指導6回（肉用牛繁殖1回、肉用牛肥育1回、酪農2回、養豚2回）

指導人材育成研修4回（肉用牛繁殖1回、肉用牛肥育1回、酪農1回、養豚1回）

(2) 生産振興関連

ア 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構・補）

(7) 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業 平成23年度～ 48,434千円

肉用牛生産基盤の強化を図るため、地域の中核的担い手に対する増頭奨励金の交付、JA等が行う繁殖雌牛貸付と簡易牛舎等の整備及び肉用牛ヘルパー活動等を支援した。

区分	員数	単価・補助率等
中核的担い手育成増頭推進	326頭	10万円/頭(262頭) 8万円/頭(64頭)
遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	73頭	9万円/頭(24頭) 6万円/頭(49頭)
優良繁殖雌牛導入支援	22頭	5万円/頭
簡易牛舎等の整備	1集団	補助率1/2以内
肉用牛ヘルパー推進	9集団	補助率1/2以内

(イ) 強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業 令和4年度～ 13,309千円

地域における肉用子牛の発育向上及び早期出荷を図るため、強化哺乳技術の活用等の取組を実施した肉用子牛生産者に対して、家畜市場への出荷頭数に応じた奨励金を交付した。

区分	員数	単価・補助率等
強化哺乳技術を活用した早期出荷支援	2,158頭	6千円/頭

イ 畜産経営災害総合対策緊急支援事業（農畜産業振興機構・補） 令和元年度～

豪雨、台風、地震等の各種自然災害等による停電等に備え、家畜の生命を維持するための機械稼動に係る非常用電源の確保を支援した。

(7) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業 2,519千円  
経営継続支援対策（非常用電源の整備等）1団体（3台）

(4) 養豚経営災害緊急支援対策事業 18,194千円  
経営継続支援対策（非常用電源の整備等）1団体（5台）  
※令和4年度事業（繰越）6,613千円（2台）を含む。

ウ 畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業に係る業務（中央畜産会・受）

平成27年度～ 11,716千円

畜産クラスター計画に基づき畜産経営者が実施する、収益性向上等に必要の機械装置の導入を支援するため、関係機関との連絡調整を図り、事業推進、各種申請書類の取りまとめ及びデータ整理等の業務を行った。

- (7) 事業参加要望書の取りまとめ 延べ284件（取組主体数）
  - (4) 事業参加申請書の取りまとめ 延べ253件（取組主体数）
  - (9) 導入機械の現地確認 10件（取組主体数）、14基（機械・装置数）
- （参考）事業の実施状況（令和5年度予算配分額）

回次	協議会数	事業費	補助額	戸数	件数	機械数
第1回	組織	円	円	戸	件	台
要望分	20	1,144,138,555	572,069,277	204	349	497
第2回	組織	円	円	戸	件	台
要望分	14	536,067,336	268,033,668	111	189	191

エ 酪農緊急パワーアップ事業に係る業務（楽酪GO事業）

（中央畜産会・受）令和5年度～ 484千円

酪農経営の労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化を図る機械装置の導入と一体的な施設整備を支援する取組について、県内の楽酪応援会議との連絡調整等に係る推進業務を行った。

オ 畜産経営体生産性向上対策事業に係る業務（畜産ICT事業）（中央畜産会・受）

令和元年度～ 230千円

酪農、肉用牛経営の労働負担軽減・ICT化を図る機械装置の導入を支援する取組について、県内の畜産ICT応援会議との連絡調整等に係る推進業務を行った。

カ 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（全国肉用牛振興基金協会・受）

令和2年度～ 6,363千円

畜産クラスター計画に基づき、取組主体（JA等）の構成員（肉用牛経営）が優良な繁殖雌牛を増頭し、和牛肉の増産を図る取組を円滑に行うため、取組主体が提出する申請書類等の取りまとめ及び連絡調整等に係る推進業務を行った。

（参考）事業の実施状況

頭数区分 （期首）	期首頭数 （頭）	期末頭数 （頭）	増頭奨励金		
			対象頭数 （頭）	単価 （円／頭）	交付額 （円）
50 頭未満	14,892	15,680	884	246,000	217,464,000
50 頭以上	20,677	21,236	615	175,000	107,625,000
合計	35,569	36,916	1,499	-	325,089,000

キ 豚登録事業（日本養豚協会・受）

昭和23年度～ 2,185千円

優良種豚の血統及び改良増殖を推進するため、子豚登記や種豚登録等の証明書発行等を行い、生産基盤の強化を図った。

豚登録・認定等証明	頭・件	計
一 腹 記 録	276	1,110 頭
子 豚 登 記	262	
種 豚 登 録	225	
系 統 種 豚 証 明	1	
一 代 雑 種 豚 血 統 証 明	346	
現 場 直 接 検 定 証 明	0	5 件
移 動 証 明	0	
系 統 維 持 施 設 証 明	2	
黒 豚 生 産 農 場	0	
指 定 種 豚 場	3	
現 場 検 定 施 設	0	

ク 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会・受）

昭和57年度～ 908千円

畜産近代化リース協会の低利貸付機械の導入と効率的利用を推進するため、貸付機械の確認、管理状況調査・指導及び新規導入推進を行った。

(7) 貸付団体：宮崎県経済農業協同組合連合会

(4) 貸付機械の調査件数：24件（自給飼料生産利用機械施設他）

## 2 畜産物価格対策

### (1) 肉用子牛関連

- ア 肉用子牛生産者補給金制度 令和2年度～6年度（第7業務対象年間）
- (ア) 肉用子牛生産者補給金（農畜産業振興機構・補） 1,109,309千円  
肉用子牛生産の安定を図るため、「黒毛和種」「乳用種」において、平均売買価格が発動基準（保証基準価格）を下回ったため、対象牛32,724頭に対して、補填金を交付した。
- (イ) 肉用子牛生産者積立金（生産者、県・農畜産業振興機構・補） 123,536千円  
平均売買価格が合理化目標価格を下回る場合に交付する生産者補給金の一部に充てるための積立金を造成した。
- イ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（農畜産業振興機構・補）  
平成2年度～ 60,693千円
- (ア) 制度運営適正化事業  
肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施体制の確保、生産者補給金の交付事務処理の高度化のため、事業推進や制度の充実・強化を図った。
- a 肉用子牛の個体識別及び個体登録と販売並びに保留確認
  - b 契約生産者等に対する指導、補給金制度の趣旨及び内容の周知徹底
  - c 個体登録、販売・保留等のデータ入力及び送信
  - d 家畜市場データの収集、整理及び送信
- (イ) 指定協会運営体制支援事業  
肉用子牛生産の安定及び肉用牛経営の安定的発展のため、補給金制度の実施体制の確保、運営体制の強化を図った。
- ウ 肉用子牛価格安定資金造成費補助金（県・補） 昭和45年度～ 6,055千円  
生産者補給金の交付に当てる資金を造成し、適正な運用を図った。
- エ 価格安定対策管理事業（協会事業） 平成17年度～ 36,065千円  
肉用子牛生産者補給金制度における契約生産者から徴収する手数料を活用して、円滑な業務の運営及び電算システムの開発・改良を行った。  
徴収額 500円／頭

オ 肉用子牛生産者補給金関連事業の実施状況等

(ア) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：件)

年度	契約区分								
	個人	農協	農協連	農事組合法人	合同会社	株式会社	有限会社	社団財団法人	合計 ( )年次個体登録契約者数
令和3	5,089	6	2	2	10	71	36	2	5,218 (4,730)
令和4	5,094	6	2	2	13	83	35	2	5,237 (4,565)
令和5	5,093	6	2	3	14	92	36	2	5,248 (4,301)

(イ) 事務委託先

(単位：件)

事務委託先			
農協	農協連	その他	合計
15	1	1	17

(ウ) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

品種区分	令和5年				合計
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
黒毛和種	17,663	16,380	16,836	16,246	67,125
その他肉専用種	0	0	0	0	0
乳用種	218	167	152	131	668
交雑種	969	1,030	901	723	3,623
合計	18,850	17,577	17,889	17,100	71,416

(エ) 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	556,000	439,000
その他肉専用種	325,000	256,000
乳用種	164,000	110,000
交雑種	274,000	216,000

## (オ) 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	250キログラム以上	320キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上	330キログラム以下
無角和種	200キログラム以上	270キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上	280キログラム以下
アングス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種（雌を除く）	250キログラム以上	330キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260キログラム以上	320キログラム以下

## (カ) 平均売買価格

(単位：円)

品種区分 期 間	黒毛和種	その他 肉専用種	乳用種	交雑種
	令和4年度第4四半期	613,600	252,300	148,100
令和5年度第1四半期	586,800		170,200	304,200
令和5年度第2四半期	521,600		196,900	299,600
令和5年度第3四半期	522,500		182,900	326,600

## (キ) 生産者積立金造成内訳

(単位：頭、円)

品種区分	個体登録 頭数	積立金 単価	積立所要額	負 担 区 分		
				機 構	県	生産者
黒毛和種	67,125	1,600	107,400,000	53,700,000	26,850,000	26,850,000
その他 肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	668	6,800	4,542,400	2,271,200	1,135,600	1,135,600
交雑種	3,623	3,200	11,593,600	5,796,800	2,898,400	2,898,400
合計	71,416	-	123,536,000	61,768,000	30,884,000	30,884,000

注) 1. 負担区分 助成金(機構1/2・県1/4)契約生産者1/4

2. 個体登録頭数 令和5年1月～令和5年12月

## (ク) 積立金の負担区分

(単位：円)

区 分	積立金単価	機 構	県	生産者
黒毛和種	1,600	800	400	400
その他 肉専用種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種	6,800	3,400	1,700	1,700
交雑種	3,200	1,600	800	800



## (ケ) 生産者補給金交付実績

(単位：円、頭、人)

交付対象期間	保証基準価格の品種区分		黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種	合計
令和5年 1月1日	交付対象頭数 ①	販売			1		1
		保留			116		116
		合計			117		117
3月31日	②生産者補給金単価		-	-	15,900	-	15,900
	③生産者補給金交付額 (①×②)				1,860,300		1,860,300
	交付対象生産者数				8		8
令和5年 4月1日	交付対象頭数 ①	販売					
		保留					
		合計					
6月30日	②生産者補給金単価		-	-	-	-	-
	③生産者補給金交付額 (①×②)						
	交付対象生産者数						
令和5年 7月1日	交付対象頭数 ①	販売	13,997				13,997
		保留	2,796				2,796
		合計	16,793				16,793
9月30日	②生産者補給金単価		34,400	-	-	-	-
	③生産者補給金交付額 (①×②)		577,679,200				577,679,200
	交付対象生産者数		3,248				3,248
令和5年 10月1日	交付対象頭数 ①	販売	13,117				13,117
		保留	2,697				2,697
		合計	15,814				15,814
12月31日	②生産者補給金単価		33,500	-	-	-	-
	③生産者補給金交付額 (①×②)		529,769,000				529,769,000
	交付対象生産者数		3,050				3,050
合計	交付対象頭数 ①	販売	27,114	0	1	0	27,115
		保留	5,493	0	116	0	5,609
		合計	32,607	0	117	0	32,724
	③生産者補給金交付額 (①×②)		1,107,448,200	0	1,860,300	0	1,109,308,500
	交付対象生産者数		-	-	-	-	-

## (コ) 生産者積立金と準備金

(単位:円)

区分		保証基準価格の品種区分		乳用種	乳・交雑種	合計		
		黒毛和種	その他肉専用種					
期首残高		1.生産者積立金	310,667,608	31,200	12,632,653	39,332,789	362,664,250	
		2.生産者積立準備金	1,053,988,465				1,053,988,465	
	内訳		3.生産者の負担金充当分	737,382,224			737,382,224	
			4.県の生産者積立助成金充当分	316,606,241			316,606,241	
			5.機構の生産者積立助成金充当分	0			0	
生産者積立金積立実績		6.生産者積立金純増加額(9+12+15+18)	56,593,682	0	2,706,400	7,202,400	66,502,482	
		7.生産者積立準備金からの繰入額(10+13+16)	50,806,318	0	1,836,000	4,391,200	57,033,518	
		8.計	107,400,000	0	4,542,400	11,593,600	123,536,000	
	生産者	内訳	9.負担金	2,893,682	0	435,200	1,405,600	4,734,482
			10.生産者積立準備金(3からの繰入額)	23,956,318	0	700,400	1,492,800	26,149,518
			11.小計	26,850,000	0	1,135,600	2,898,400	30,884,000
	都道府県	内訳	12.生産者積立助成金	0	0	0	0	0
			13.生産者積立準備金(4からの繰入額)	26,850,000	0	1,135,600	2,898,400	30,884,000
			14.小計	26,850,000	0	1,135,600	2,898,400	30,884,000
	機構	内訳	15.生産者積立助成金	53,700,000	0	2,271,200	5,796,800	61,768,000
			16.生産者積立準備金(5からの繰入額)	0	0	0	0	0
			17.小計	53,700,000	0	2,271,200	5,796,800	61,768,000
		その他	18.生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0
	他の資金からの繰入状況等		19.特別の積立金から生産者積立金へ繰り入れた金額	0	0	0	0	0
			20.調整積立金から生産者積立金へ繰り入れた金額	0	0	0	0	0
			21.生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0
			22.生産者積立金に係る運用果実	6,225	0	250	787	7,262
		23.生産者積立準備金に係る運用果実	12,029				12,029	
内訳		内訳	生産者	6,200			6,200	
			都道府県	5,829			5,829	
			機構	0			0	
		24.生産者補給金交付額(21を含む)	0	0	0	0	0	
		25.生産者積立金からの借入金返済額	0	0	0	0	0	
	26.生産者積立準備金から返還した金額	10,169,380				10,169,380		
内訳	内訳	生産者	10,169,380			10,169,380		
		都道府県	0			0		
		機構	0			0		
業務終了時残高		27.生産者積立金(1+8+19+20+21+22-24-25)	418,073,833	31,200	17,175,303	50,927,176	486,207,512	
		28.生産者積立準備金(2-7+23-26)	986,797,596			986,797,596		
	内訳	内訳	29.生産者の負担金充当分	701,069,526			701,069,526	
			30.県の生産者積立助成金充当分	285,728,070			285,728,070	
			31.機構の生産者積立助成金充当分	0			0	

(サ) 特別の積立金、償還円滑化積立金の基金造成  
基金造成実績なし

(シ) 価格安定対策管理事業（協会事業）

＜生産者補給金制度契約手数料＞

（単位：円）

区 分	金額	備考
1 期首残高	0	
収入の部		
契約手数料	36,064,500	72,129頭×@500円
利息収入	986	
制度整備運営積立金取崩収入	0	
2 当期収入計	36,065,486	
支出の部		
契約手数料管理		
制度運用経費（委託先）	11,438,572	
制度運用経費（市場）	9,580,019	
制度運用経費（協会）	8,346,328	
制度整備運営積立金繰入	5,666,067	
未登録返戻金	1,034,500	補給金登録対象牛以外返金
3 当期支出計	36,065,486	
4 収支差額（2－3）	0	
5 期末残高（1＋4）	0	

※ 契約手数料（500円/頭）のうち、300円/頭は事務委託先及び市場へ配分し、200円/頭は委託先パソコンリース料、データベース保守料、システム更新料などに支出

カ 和子牛生産者臨時経営支援事業（農畜産業振興機構・補）

令和4年度～ 1,517,366千円

肉用子牛生産基盤の安定を図るため、和子牛生産者のセーフティネットを臨時的に措置し、ブロック別の平均価格（四半期毎）が発動基準価格を下回った場合に、差額の4分の3を事業参加者に交付した。

(ア) 発動基準価格

（単位：円）

品種区分	発動基準価格	算出の単位	算出の期間	交付金の額
黒毛和種	600,000	ブロック別	四半期	発動基準と平均売買価格との差額に4分の3を乗じた額
褐毛和種	550,000	全国	四半期	
その他肉専用種	350,000	全国	年	

キ 宮崎県和牛繁殖経営維持緊急対策事業（県・補）

令和5年度～ 101,119千円

和子牛生産者臨時経営支援事業のブロック別平均価格が発動基準価格を下回った場合の差額から和子牛支援交付金を差し引いた残額の2分の1（差額の8分の1）を畜産農家に交付した。（市場での販売牛が対象）

<参考>和子牛生産者臨時経営支援事業及び宮崎県和牛繁殖経営維持緊急対策事業交付実績（単位：円、頭、人）

交付対象期間	保証基準価格の品種区分	和子牛	宮崎県和牛
令和5年 1月1日 ） 3月31日	①交付対象頭数		
	②交付金単価	-	-
	③交付額（①×②）		
	交付対象生産者数		
令和5年 4月1日 ） 6月30日	①交付対象頭数	13,333	
	②交付金単価	15,000	-
	③交付額（①×②）	199,995,000	
	交付対象生産者数	3,115	
令和5年 7月1日 ） 9月30日	①交付対象頭数	13,995	5,309
	②交付金単価	47,600	5,500
	③交付額（①×②）	666,162,000	29,199,500
	交付対象生産者数	3,111	2,112
令和5年 10月1日 ） 12月31日	①交付対象頭数	13,088	12,741
	②交付金単価	49,500	5,500
	③交付額（①×②）	647,856,000	70,075,500
	交付対象生産者数	2,917	2,915
合計	①交付対象頭数	40,416	18,050
	③交付額（①×②）	1,514,013,000	99,275,000
	交付対象生産者数	-	-

※宮崎県の事業は令和5年9月以降に市場で販売されたものが交付対象

## (2) 肉用牛肥育関連

### ア 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

令和4年度～令和6年度（第2業務対象年間）

#### (ア) 肉用牛肥育経営安定交付金（農畜産業振興機構・補、基金）

4,057,828千円

「肉専用種」「交雑種」「乳用種」の全ての品種で、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回ったため、差額の9割について、国の交付金（3/4相当額）と生産者積立金（1/4相当額）から、対象牛60,488頭に補填金を交付した。

※納付猶予期間の納付猶予対象牛においては、交付額の3/4を交付

#### (イ) 肉用牛肥育経営安定積立金（生産者、県・補） 821,949千円

肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に交付する肉用牛肥育経営安定交付金の一部（1/4相当額）に充てるため、生産者負担金と県補助金による基金（生産者積立金）を造成した。

### イ 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務（農畜産業振興機構・受）

平成30年度～ 20,678千円

肉用牛肥育経営安定交付金の適正な推進と円滑な基金運営を図るため、業務規程に定める個体登録・販売確認等の事務を推進し、67,097頭の登録を行った。

### ウ 価格安定対策管理事業（協会事業） 平成16年度～ 39,230千円

肉用牛肥育経営安定交付金制度における契約生産者から徴収する手数料を活用して、円滑な業務推進を図った。

徴収額39,230千円（78,459頭×500円/頭）

### エ 肥育牛経営安定交付金制度関連事業の実施状況等

#### (ア) 牛マルキン対象者契約締結状況

（単位：件）

区分	肥育経営	一貫経営	酪農経営	合計
個人	120	109	4	233
農協・農協連	6	3	0	9
農事組合法人	1	1	0	2
合同会社	1	4	0	5
株式会社	37	41	1	79
有限会社	22	21	1	44
その他	1	0	0	1
合計	188	179	6	373

## (イ) 事務委託先

(単位：件)

区分	農協	農協連	その他	合計
令和5年度	14	1	2	17

## (ウ) 登録頭数状況

(単位：頭)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
肉専用種	50,083	51,347	50,754	50,750	52,432
交雑種	9,967	11,026	11,434	12,429	13,104
乳用種	1,921	2,052	1,925	1,869	1,561
合計	61,971	64,425	64,113	65,048	67,097

## (エ) 制度実施基準

交付金拠出割合	生産者＋県 1 : 機構 3
事業実施期間	令和4年度～令和6年度
発動基準	毎月の肥育牛1頭当たりの「標準的販売価格」が「標準的生産費」を下回った場合に差額分の9割を交付
対象品種	肉専用種、交雑種、乳用種
算定方式	肉専用種はブロック算定方式を採用

## (オ) 積立金単価 (令和5年度単価)

(単位：円)

区分	負担金単価	内訳		請求月齢
		生産者	県	
肉専用種	12,000	10,900	1,100	満25か月齢
交雑種	17,000	16,600	400	満22か月齢
乳用種	14,000	13,400	600	満18か月齢

## (カ) 交付金交付状況

期間	品種区分	交付対象		機構の 交付金単価	交付額 (円)		
		人数	頭数		合計	機構	積立金
		(人)	(頭)		(4/4)	(3/4)	(1/4)
令和5年1月 (精算払)	肉専用種	245	3,472	4,901.2	17,014,518	12,762,711	4,251,807
	交雑種	39	897	4,645.6	4,167,107	3,125,327	1,041,780
	乳用種	7	109	4,592.5	500,582	375,435	125,147
	計	291	4,478		21,682,207	16,263,473	5,418,734
令和5年2月	肉専用種	246	3,784	85,996.8	325,411,783	244,058,754	81,353,029
	交雑種	40	944	46,034.1	43,456,172	32,592,115	10,864,057
	乳用種	9	127	45,992.7	5,841,068	4,380,797	1,460,271
	計	295	4,855		374,709,023	281,031,666	93,677,357
令和5年3月	肉専用種	264	4,439	93,717.0	416,009,763	312,007,224	104,002,539
	交雑種	39	1,023	10,440.0	10,680,120	8,010,090	2,670,030
	乳用種	8	103	56,792.7	5,849,644	4,387,229	1,462,415
	計	311	5,565		432,539,527	324,404,543	108,134,984
令和5年4月	肉専用種	0	0		0	0	0
	交雑種	0	0		0	0	0
	乳用種	9	123	45,047.7	5,540,862	4,155,642	1,385,220
	計	9	123		5,540,862	4,155,642	1,385,220
令和5年5月	肉専用種	245	3,710	34,595.1	128,339,076	96,260,700	32,078,376
	交雑種	40	891	13,933.8	12,414,998	9,311,231	3,103,767
	乳用種	11	135	45,099.0	6,088,365	4,566,271	1,522,094
	計	296	4,736		146,842,439	110,138,202	36,704,237
令和5年6月	肉専用種	245	4,303	54,472.5	234,395,105	175,796,228	58,598,877
	交雑種	41	996	45,225.0	45,044,100	33,783,061	11,261,039
	乳用種	9	133	32,263.2	4,291,001	3,218,247	1,072,754
	計	295	5,432		283,730,206	212,797,536	70,932,670
令和5年7月	肉専用種	254	3,993	82,976.4	331,303,907	248,493,406	82,810,501
	交雑種	43	1,184	45,701.1	54,110,085	40,582,549	13,527,536
	乳用種	11	158	37,302.3	5,893,759	4,420,314	1,473,445
	計	308	5,335		391,307,751	293,496,269	97,811,482
令和5年8月	肉専用種	252	3,898	129,728.7	505,649,928	379,261,670	126,388,258
	交雑種	38	922	56,643.3	52,225,107	39,168,815	13,056,292
	乳用種	8	161	32,547.6	5,240,161	3,930,119	1,310,042
	計	298	4,981		563,115,196	422,360,604	140,754,592
令和5年9月	肉専用種	251	4,131	113,262.3	467,886,443	350,914,738	116,971,705
	交雑種	41	1,109	53,065.8	58,849,957	44,137,451	14,712,506
	乳用種	0	0		0	0	0
	計	292	5,240		526,736,400	395,052,189	131,684,211
令和5年10月	肉専用種	254	4,057	128,483.1	521,255,830	390,941,774	130,314,056
	交雑種	38	981	51,198.3	50,225,518	37,669,125	12,556,393
	乳用種	0	0		0	0	0
	計	292	5,038		571,481,348	428,610,899	142,870,449
令和5年11月	肉専用種	265	4,978	79,317.0	394,840,026	296,129,919	98,710,107
	交雑種	40	1,053	16,210.8	17,069,954	12,802,452	4,267,502
	乳用種	0	0		0	0	0
	計	305	6,031		411,909,980	308,932,371	102,977,609
令和5年12月	肉専用種	274	4,680	59,789.7	279,815,671	209,861,631	69,954,040
	交雑種	0	0		0	0	0
	乳用種	10	122	6,732.9	821,409	616,054	205,355
	計	284	4,802		280,637,080	210,477,685	70,159,395
令和6年1月 (概算払)	肉専用種	260	3,754	12,392.3	46,520,569	34,890,340	11,630,229
	交雑種	0	0		0	0	0
	乳用種	8	118	9,112.7	1,075,295	806,468	268,827
	計	268	3,872		47,595,864	35,696,808	11,899,056
合計	肉専用種	3,055	49,199		3,668,442,619	2,751,379,095	917,063,524
	交雑種	399	10,000		348,243,118	261,182,216	87,060,902
	乳用種	90	1,289		41,142,146	30,856,576	10,285,570
	計	3,544	60,488		4,057,827,883	3,043,417,887	1,014,409,996

※生産者負担金の納付猶予対象牛は、国費(3/4相当額)のみを交付した。

## (キ) 積立金造成実績

(単位：円)

区分		品種区分			県補助準備金	合 計	
		肉専用種	交雑種	乳用種			
期首 残高	1	積立金造成額	1,031,304,120	273,262,961	27,369,170	-	1,331,936,251
	2	宮崎県補助準備金資産	-			89,616,075	89,616,075
	3	合計(1+2)	1,331,936,251			89,616,075	1,421,552,326
期中 増加	4	積立金造成合計(5+6)	593,246,321	206,624,000	22,078,000	-	821,948,321
		5 生産者負担金造成額	538,890,921	201,762,400	21,131,800	-	761,785,121
		6 宮崎県補助金造成額	54,355,400	4,861,600	946,200	-	60,163,200
	7	果実合計(8+9)	9,586	3,160	303	685	13,734
		8 積立金の運用により生じた果実	9,586	3,160	303	-	13,049
		9 宮崎県補助準備金資産の運用により生じた果実	-			685	685
	10	合計(4+7)	821,961,370			685	821,962,055
期中 減少	11	補填金交付額合計	917,063,524	87,060,902	10,285,570	-	1,014,409,996
	12	宮崎県補助準備金の造成額(=6)	-			60,163,200	60,163,200
	13	合計(11+12)	1,014,409,996			60,163,200	1,074,573,196
期末 残高	14	積立金造成額(1+4+7-11)	707,496,503	392,829,219	39,161,903	-	1,139,487,625
	15	宮崎県補助準備金資産(2+9-12)	-			29,453,560	29,453,560
	16	合計(14+15)	1,139,487,625			29,453,560	1,168,941,185



(ク) 価格安定対策管理事業（協会事業）

区 分	金 額 (円)	備 考
1 期首残高	2,835,219	
収入の部 契約事務手数料 雑収入	39,229,500 2,655	78,459 頭×500 円 受取利息
2 当期収入計	39,232,155	
支出の部 個体識別技術料(委託先等) 事務費(委託先等) 事務運営経費 什器備品購入費	8,889,900 3,304,300 15,542,624 2,355,490	
3 当期支出計	30,092,314	
4 収支差額(2 - 3)	9,139,841	
5 期末残高(1 + 4)	11,975,060	

※ 契約事務手数料（500 円／頭）については、事務委託先等へ個体識別技術料（上限 200 円／頭）や事務費（50 円／頭）として支出した他、事務運営経費として什器備品購入費用、システムの保守料、更新料及び改修費用等に支出した。

(3) 養豚関連

ア 肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

肉豚経営安定対策事業（県・基） 令和3年度～ 74,734千円

県から交付された補助金により、肉豚経営安定対策事業基金を造成し、その基金から生産者負担金に対応する県の負担金を農畜産業振興機構に支出した。

イ 実施状況等

(ア) 負担金単価 (負担割合) 生産者＋県 1：機構 3

生産者		機構	計
生産者負担額	県負担額		
330円	70円	1,200円	1,600円

(イ) 積立金

生産者数	頭数	生産者負担金	県負担金
124戸	1,067,619	352,314,270円	74,733,330円

※ 令和5年度は、補填金発動なし。

※ 生産者負担金は、生産者から機構へ直接積立を行う。

### 3 衛生指導対策

#### (1) 自衛防疫関連

##### ア みやぎの家畜防疫強靱化事業（県・補）

令和3年度～令和5年度 8,847千円

水際防疫、地域防疫を強化し、より高い水準での防疫体制を構築することで、家畜伝染病の発生及びまん延を防止し、畜産経営の安定化を図った。

地域防疫対策：12自防、2市2町

水際防疫対策：4団体

##### イ みやぎの家畜防疫強靱化事業（県・受）

令和3年度～令和5年度 10,801千円

「県内一斉消毒の日（毎月20日）」の啓発及び実施状況の確認を行うとともに、農場防疫の強化を図るため、飼養衛生管理基準の周知徹底、家畜伝染病予防法に基づく農家・農場情報の収集、報告の取りまとめを行った。

##### ウ 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域自衛防疫活動推進事業）

（中央畜産会・補）令和4年度～令和6年度 2,391千円

家畜伝染病発生時の防疫対応を円滑に実施するため、生産者及び関係者による初動防疫の演習等、地域自衛防疫体制の維持、強化を支援した。

防疫演習の実施：小林市、えびの市、高原町、三股町、川南町

#### (2) 衛生指導関連

##### ア 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域農場HACCP認証支援事業）

（中央畜産会・補）令和4年度～令和6年度 2,716千円

家畜の衛生管理及び畜産物の安全性向上、さらには国際的な競争力の強化等を目指し、農場HACCP認証取得に取り組む畜産農家への技術指導支援と取組の広域的な普及を図った。

農場HACCP構築支援農場：肉用牛4農場、鶏3農場

##### イ 地域養豚生産衛生向上対策支援事業（中央畜産会・補）

令和5年度 21,083千円

養豚農場の生産性を阻害する豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）の発生低減・排除に地域全体で取り組む自衛防疫組織に対して、採材・検査及び防疫対策に係る経費の支援を行い、疾病発生の低減を図った。

(ア) 地域推進会議：2回

(イ) 地域衛生対策：巡回指導事業、着地・モニタリング・清浄化推進検査  
（抗体検査、遺伝子検査、他）

ウ 家畜生産農場衛生対策事業（国・補） 平成2年度～ 21,915千円

牛伝染性リンパ腫（BL）や牛ウイルス性下痢（BVD）の感染拡大を防止するための検査等、生産農場における組織的な取組による疾病の流行防止対策を推進し、家畜の損耗防止を図った。

(ア) 全国流行疾病対策 (単位：頭)

	抗体検査	とう汰
BL対策	14,910	-
ヨーネ病対策	-	1
BVD対策	47	1

(イ) 疾病流行防止支援対策

- a ワクチン接種の推進及び接種計画策定会議の開催
- b 吸血昆虫が媒介するアカバネ病の発生・流行防止のためワクチン接種を推進し、家畜の損耗防止を図った。

エ 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国・補） 平成15年度～ 9,986千円

県内で死亡した96か月齢以上の牛（特例を除く）の所有者に対し、運搬・処理に要する経費を支援し、死亡牛の適正処理とBSE検査の円滑な実施を推進した。

月齢 区分	補助対象 死亡牛頭数	区分	輸送促進費	適正処理費	合計
96か月 齢以上	994頭	事業費(円)	4,247,203	15,229,124	19,476,327
		補助金(円)	1,930,487	6,913,380	8,843,867

オ 牛慢性疾病対策事業（県・補） 令和2年度～令和4年度 5,159千円

牛伝染性リンパ腫の清浄化を推進するため、採血に要する経費を助成し、家畜の損耗防止を図った。

採材料補助：8,297頭

カ 野生獣衛生対策促進事業（中央畜産会・補）

令和5年度～令和7年度 4,700千円

イノシシやシカ等の伝染病保有状況調査を行い、これらを踏まえた関係者間の情報共有や生産者への侵入防止対策の普及により、野生獣被害防止の体制整備を推進した。

(ア) 地域衛生技術連絡協議会（研修会を含む）の開催：3回

(イ) 野生獣衛生実態等調査事業

区分	計画頭数	実施頭数	検査対象疾病名
イノシシ	300	471	オーエスキー病、CSF、PRRS、ASF
イノシシ	15	15	E型肝炎、0-157、黄色ブトウ球菌等
シカ	35	35	E型肝炎、0-157、黄色ブトウ球菌等

キ 特定疾病等防疫事業（協会事業） 昭和47年度～ 268,711千円

(ア) 予防接種事業

(単位：頭、羽)

区 分	計画 頭数	実績 頭数	計画比 (%)	(参考：前 年度実績)
豚丹毒(生)	2,000	1,881	94.1	1,941
豚丹毒(不活化)	0	0	—	0
オーエスキー病	3,200	3,091	96.6	3,675
牛呼吸器5種混合(生)	65,000	61,331	94.4	63,201
牛呼吸器5種混合(不活化)	280	246	87.9	281
牛ヒストフィルス・ソムニ感染症	24,000	22,781	94.9	23,289
牛呼吸器6種混合(不活化)	50	180	360.0	168
牛異常産3種混合	0	0	—	0
牛異常産4種混合	61,000	49,754	81.6	57,920
イバラキ病	26,000	24,964	96.0	25,405
牛流行熱	50	0	—	0
牛流行熱・イバラキ病混合	150	60	40.0	100
炭疽	18,000	14,613	81.2	16,590
馬3種混合	43	47	109.3	37
馬日本脳炎	15	4	26.7	12
馬インフルエンザ	39	24	61.5	22
馬鼻肺炎	16	59	368.8	13
ニューカッスル病	0	0	—	0

(イ) 自衛防疫組織強化推進事業

自衛防疫組織の体制強化を図るため、市町村自衛防疫推進協議会に対して予防注射の実績に応じて、事業推進費を交付した。

項 目	交付箇所数	交付金額
自衛防疫事業推進費	26 か所	5,273,590 円

(ウ) 自衛防疫推進事業

自衛防疫事業の適切な実施を図るため、県自衛防疫推進委員会及び地区自衛防疫推進協議会等の会議を開催した。

項 目	開催	内 容
宮崎県自衛防疫推進委員会	1 回	令和5年度事業報告、令和6年度計画各種予防注射事業の対価等について
地区自衛防疫推進協議会	4 回	地域における事業実績、計画について 地域の予防注射事業の推進について
市町村自衛防疫担当者会	3 回	事業推進のための事務打合せ、研修等

(エ) 予防注射事故対策事業

当協会が行う予防接種事業により、予防注射が原因で家畜の死亡、死・流産、副反応が発生したため、家畜所有者に対して事故見舞金を交付した。

畜種	事故の種類	予防注射の種類	月(胎)齢	事故数	見舞金交付額
牛(黒毛)	副反応	牛異常産4種混	92 か月齢以上	4件4頭	20,000円
牛(黒毛)	副反応	牛ヒストフィス・ソムニ	9 か月齢	1件1頭	5,000円
牛(黒毛)	副反応	牛呼吸器5種混生 牛ヒストフィス・ソムニ	4 か月齢	1件1頭	5,000円
牛(黒毛)	流産	牛異常産4種混	胎齢6 か月齢	1件1頭	71,000円
牛(黒毛)	流産	炭疽	胎齢7 か月齢	1件1頭	71,000円
牛(黒毛)	死亡	牛呼吸器5種混生	2 か月齢以上	4件4頭	436,000円
牛(黒毛)	死亡	牛ヒストフィス・ソムニ	8 か月齢	1件1頭	109,000円
牛(黒毛)	死亡	牛呼吸器5種混生 牛ヒストフィス・ソムニ	5 か月齢	1件1頭	109,000円
牛(黒毛)	死亡 死産	牛異常産4種混	152 か月齢 胎齢84日齢	1件2頭	158,000円
合計				15件16頭	984,000円

ク 馬飼養衛生管理特別対策事業(中央畜産会・補)

平成10年度～ 831千円

実態調査により多様化する馬の飼養環境を的確に把握するとともに、講習会や協議会等を開催し、飼養者の衛生管理に対する意識向上や関係者の連携構築を図り、馬の飼養衛生管理体制の強化を推進した。

- (ア) 地域馬飼養衛生管理体制整備検討委員会 : 1回
- (イ) 馬飼養衛生管理技術地方講習会 : 1回
- (ウ) 地域馬獣医療実態調査 : 1回
- (エ) 馬飼養衛生基礎技術実習 : 1回

ケ 馬伝染性疾病防疫推進対策事業(中央畜産会・補)

平成27年度～ 1,508千円

乗用馬及び繁殖牝馬等への各種ワクチン接種を支援することで、馬伝染性疾患の防疫強化を推進した。

- (ア) 馬インフルエンザ予防接種頭数 : 延べ 6頭
- (イ) 馬鼻肺炎予防接種頭数 : 延べ60頭

- コ 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会・補）平成10年度～ 311千円  
競走用育成馬等に対する馬3種混合、馬インフルエンザ及び日本脳炎の予防接種を支援した。

区 分	馬3種混合 (日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)	馬インフルエンザ
接種頭数(延べ)	45頭	18頭

### (3) その他

#### ア 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会・受）

平成10年度～ 11,522千円

口蹄疫、豚熱等の海外悪性伝染病が万一発生した場合に備えて、畜産経営への影響緩和を目的に、国と生産者の積立金による互助補償制度の推進を図った。

(第8期事業実施期間：令和3年度～令和5年度分)

契約戸数 (戸)		家畜の種類	契約頭数 (頭)	生産者積立金 (円)
乳用牛・肉用牛	4,528	乳用牛(24か月齢以上)	10,285	2,519,825
		乳用牛(24か月齢未満)	4,602	414,180
		肉専用種繁殖牛(24か月齢以上)	94,546	22,218,310
		肉専用種繁殖牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛	178,140	22,267,500
		肉専用種と乳用種の交雑肥育牛	20,273	1,925,935
		乳用種肥育牛	3,630	326,700
豚	家族型 82	繁殖用種豚(雌)	5,934	2,225,250
		繁殖用種豚(雄)	394	147,750
		肥育豚	65,167	6,842,535
	企業型 63	繁殖用種豚(雌)	51,202	19,968,780
		繁殖用種豚(雄)	1,277	498,030
		肥育豚	575,519	63,307,090
計	4,673		1,010,969	142,661,885

- イ 獣医師確保対策強化事業（国、県・補）平成25年度～ 5,651千円  
産業動物獣医師確保のため、獣医専攻学生2名に対し修学資金を給付した。

(ア) 獣医師養成確保修学資金給付事業（国・補） 2,420千円

(イ) 畜産の基盤を支える獣医師の安定確保推進事業（県・補） 3,231千円

- ウ 獣医師職員育成資金給付事業（県・補）平成29年度～ 2,559千円

食の安全・安心や動物衛生等の業務を行う県職員獣医師の確保を図るため、獣医専攻学生2名に対し修学資金を給付した。

## 4 事務局受託業務

### (1) 宮崎県畜産振興協議会

家畜の改良と畜産経営発展のため農林水産祭参加行事として、第64回宮崎県畜産共進会を開催した。

<出品点数、開催日及び場所>

出品部門	出品点数	開催日	場所
第1部 肉用種種牛	64頭	10月5日	小林地域家畜市場
第2部 乳用種種牛	59頭	11月27日	
第3部 肉牛枝肉	100頭	10月24日	(株)ミヤチク 高崎工場
第4部 肉豚枝肉	144頭(24組)		

<各部首席並びに団体優勝>

出品部門	グランドチャンピオン		団体優勝
第1部 肉用種種牛	小林市	森田 悠斗	高千穂地区農業協同組合
第2部 乳用種種牛	高原町	合同会社石山牧場	宮崎経済連 都城地域
第3部 肉牛枝肉	小林市	有限会社馬場牧場	東臼杵郡市畜産農業協同組合連合会
第4部 肉豚枝肉	木城町	有限会社カツモト	はまゆう農業協同組合

### (2) 宮崎県馬事畜産振興協議会

地方競馬全国協会が実施する畜産振興補助事業の円滑な推進を図るとともに、地方競馬並びに本県の畜産や畜産物のPRを行うため、「冠レース」への副賞提供を行った。

開催日	競走名	副賞
令和5年7月9日(日)	RKB ラジオ杯第6回 佐賀王冠賞	宮崎牛
令和6年1月8日(月)	宮崎県馬事畜産振興杯	宮崎牛 ひなた美豚
令和6年3月16日(土)	地方競馬ミルクウィーク2024 てげうめっちゃが！宮崎の酪農 応援賞	宮崎県の乳製品セ ット

- (3) 一般社団法人宮崎県畜産会館
- (4) 宮崎県郡畜連合会議
- (5) 宮崎県コントラクター等協議会
- (6) 宮崎県堆肥センター協議会
- (7) みやざき養豚生産者協議会
- (8) 宮崎県養豚人材育成協議会
- (9) 宮崎県指定種豚場協会
- (10) 宮崎県養蜂組合
- (11) 宮崎県養蜂等振興推進協議会
- (12) 宮崎県獣医師確保推進協議会